

令和3年度 保健福祉センター内障害者福祉センター 指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和2年度

施設のサービス水準の視点コメント

新型コロナウイルス感染症が拡大した影響により、生活介護及び放課後等デイサービスの利用人数が全体的に減少したものの、感染症対策を確実にしながら利用者のニーズへの対応や、不定期利用の促しを行ったため利用日数の増加に繋がった点について評価する。また、放課後等デイサービスについては、新規利用児も増加し、一人当たりの利用日数が増加した点についても評価する。

収支状況 コメント

新型コロナウイルス感染症が拡大した影響により、生活介護及び放課後等デイサービス共に事業収入が減少したが、同影響により職員の雇用の減少や休職も増加し、例年比より人件費が低くなった。支出については、研修の強化により予算額を上回っているが、純利益が出ていることから、収入状況は良好であると判断できる。

感染症対策 コメント

本市の新型コロナウイルス感染症の拡大防止にかかる要請について、速やかに対応できていた。また、本市が示す「新型コロナウイルス感染症との共存を踏まえた公共施設運営の目安」を徹底し、環境整備を実施し、良好なサービスを提供できている。職員への指導の徹底だけでなく、利用者に対しても説明を徹底できおりクラスターの発生も無かった。イベントについても、中止または縮小して開催するのか検討し、工夫をこらして利用者のニーズに応じて開催できており、良好であると評価した。

市による総合評価 コメント

当指定管理者は、利用者やその家族のニーズ把握に努めるために、アンケート調査を実施しており、そのアンケート調査で把握したニーズを踏まえ、利用者の増加及び利用者の満足度の向上について取り組んでいる。また、障がい者の高齢化等により障がい程度の重度化に対応すべく、職員研修や個人情報保護のために行う月に1度の全体ミーティング等を通じ、職員同士の情報共有を行っている。今後においても職員体制を強化し、障がい児（者）が適切な支援を受けることが可能となる事業運営・展開を期待する。その他に、地域の障がい児（者）施設では受入れが難しい医療的ケアが必要な障がい児（者）や重症心身障がい児（者）を率先して受入れており、今後もサービス向上や重症心身障がい児（者）の生活を守る役割を期待する。新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中、職員の手洗いうがいやマスクの着用、設備の消毒、検温及び定期的な換気等の対策を徹底したことにより、通常通りに運営されたことや、毎年開催している行事について中止または縮小して開催するのか検討し、利用者に対して季節感を感じてもらったり楽しみの提供ができた点について評価する。今年度も送迎車両の物損事故が見受けられたため、利用者の送迎に関してはさらなる安全運転の徹底や研修等での運転技術の向上を求める。以上の理由により、概ね協定事項等の水準どおりに施設運営されていると判断した。

総合評価

B

総合評価区分凡例

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった